



## 子どもの読書週間・先生の読み聞かせ

4月25日、「こどもの読書週間」に合わせ、毎年恒例の担任の先生による読み聞かせを行いました。先生自身が好きだったという絵本やお子さんに選んでもらったという絵本、なかには「授業の復習だ!」と歴史まんがを読む先生も!(長い司書人生、歴史まんがの読み聞かせは初めて見ました…!)先生方の個性が出る楽しい読み聞かせの時間でした^^

絵本をゆすってみたり絵を押してみたり、体験型絵本をみんなで楽しんでいました!



「この絵本知ってる~!」  
どうれしそうな声も聞こえました!



大型絵本『モチモチの木』(斎藤隆介、岩崎書店)を読みながら「これがモチモチの木だ!!大きいなあ!!モチモチの木!!!」と、うれしそうな岡村先生^^生徒から「先生、読み聞かせ…」とツツコミが入っていました(笑)

## 4/30 は図書館記念日

4月30日は「図書館記念日」です。たくさん図書館を利用して、図書館を身近に感じてくれたらうれしいです!図書館を舞台にした物語を紹介します。



### 『虹いろ図書館のへびおとこ』

櫻井とりお、河出書房新社

学校に通えなくなった小6のほのか。たどり着いた古い図書館であ会ったのは、みどり色の司書だった…。



### 『お探し物は図書室まで』

青山美智子、ポプラ社

仕事や人生に悩む人々がふとしたきっかけでおとず訪れた小さな図書室。そこには狭いカウンターの中で手芸をしている不愛想な司書がいて、悩みを聞いて本と付録で人生を後押ししてくれるのだった。



### 『本と鍵の季節』

米澤穂信、集英社

不人気な図書委員を務める堀川次郎と松倉詩門。図書室に持ち込まれる日常に潜む謎を2人が解決していく青春図書室ミステリー。

# お話玉手箱、始まりました！

「お話玉手箱」が始まりました。前回もお知らせしたとおり、放送室から生放送で朗読されています！今回は、詩の絵本と、次回から読まれる『ギソク陸上部』（山下白、学研プラス）の「プロローグ」を朗読されました。両方とも図書館にありますので、気になる人は読んでみてくださいね。



## 朗読された詩の絵本：

『最初の質問』長田弘・詩、いせひでこ・絵、講談社

今日、あなたは空を見上げましたか。空は遠かったですか、近かったですか。——毎日の忙しい生活の中で忘れかけている大切なことを思い出させてくれるような質問が続きます。時々開いてみて、自分に問いかけてみてほしいなと思います。

## 大津中図書館の歴史①

少しずつ校舎の改築が進んでいます。今の校舎が出来たのは昭和59年！司書・宮野、実は同じ年です…年季の入った校舎を見ると、なんとも複雑な気持ちになります…

さて、先日、元大津中司書の [ ] さんから昔の大津中図書館の写真を見せていただきました。貴重な写真ですので、何回かに分けて皆さんとシェアしたいと思います。

## 昭和56～57年 体育館に図書館！？時代

現在の校舎建設中、昭和56～57年の2年間、図書館はなんと現在の体育館の2階ギャラリーにあったそうです！【写真： [ ] さん提供】



外から見るとここ！  
窓に「図書館へどうぞ」と  
書いてあります



ここです！  
「文学者の写真を貼って  
図書館らしさを演出」  
されていたとか…



中はこんな感じ。  
植物も置かれ  
あたたかい雰囲気。